



# ゆんたくから生まれるアイデア

ここはいろいろな情報交換の場

恵美子さんは地域みんなのお母さん

自分ができることをみんなが持ち寄ればいい!

島袋さんを中心にみんながつながっています

北中城村の素晴らしさをどんどん発信したい!

新しい農業で地域をもっと元気にしたい!



左から、高良健さん、田仲康信さん、安里芳子さん、島袋恵美子さん、山内米一さん、安里雄徳さん



毎月第3日曜日に開催している車いすのシンガー「謝花伊早武トーク&ライブ」では、謝花さんの歌に勇気づけられる



ヤチムンからEM米、味噌、ワイン、お茶、アクセサリまで、さまざまなジャンルの特産品を販売



安心安全な有機野菜を使って、峠の茶屋の料理が生まれる



メンバーが愛情を込めて作った北中城の特産品



## 峠の茶屋(北中城村)

「大好きな北中城村の魅力をみんなに伝えたい」  
ゆんたくから生まれるアイデアで特産品を開発

# 人・モノ・文化 地域物語

# つながる広がる

## 人・モノ・笑顔が集まる コミュニティスペース

北中城村の「峠の茶屋」は、中城城跡を一望する高台に建つお食事処。店主の島袋恵美子さんが村の資源と人材をつなぎ、魅力あふれる商品を次々とプロデュースしています。

きっかけは「地域の役に立ちたい」と参加した北中城村商工会主催の人材育成塾「ぐすく塾」。活動の中で、地域の農家で過剰生産された野菜を売る朝市を企画。大勢の人が応援に集まる駅伝大会の朝、キャベツやホウレンソウなどを農家が直接販売し、二時間で完売。農家が客と話す機会をもつことで喜びや気づきがあり、告知ポスターづくりやテントの設置、呼び込みはみんなで分担。「そのときの団結の楽しさや達成感が今の活動の基礎になった」と話します。

## お客さまと作り手の想いを「橋渡し」

朝市をきっかけに、地元野菜を紹介する峠の茶屋を四年前にオープン。農家とのつきあひも広がりました。学校給食に野菜を提供する若手農家の高良健さんもその一人。「僕も村の野菜を食べて育った。もつと

門外。島袋さんの発想や行動力が刺激になった」と話します。

陶芸家の山内米一さんは、村のシンボルとなるシーサーの作り手。峠の茶屋では山内さんの器を販売し、料理の器としても一部使用。また、村内のスージグワ(筋道)や飲食店の国の重要文化財である中村家を使った週末美術館のイベントでも島袋さんと協力。「自分の得意分野で必要とされることは幸せ。彼女のよう

## 原動力はあふれんばかりの「地域愛」

「ここはみんなの店。ワイワイゆんたくしながら、商品開発のアイデアが見つければいい」と島袋さん。店では筋ジストロフィー症を抱えて音楽活動を行う謝花伊早武さんや、八十八歳のおばあさんより昔ながらの知恵を学ぶトークライブも開催。

「北中城村にある素晴らしい人や資源を一つひとつつなげていきたい」と微笑む島袋さん。地域のアンマー兼プロデューサーとして、仲間たちとの地域づくりを楽しんでいます。

お問い合わせ  
峠の茶屋  
電話:098-9353718

ろいろな野菜を子どもたちに届けたい」。高良さんに新しい農業を期待し、店での野菜の取り扱いや人脈紹介で応援する島袋さん。

「母親みたいな島袋さんの温かさ」にみんなが惹かれ、協力したくなる」と話す元農家の安里芳子さんは、手作りスコーンやローゼルジャム、野菜のウコン漬けなどの加工品を製造。

隣の中城村で島ニンジン栽培する安里雄徳さんは、冬が旬の島ニンジンを夏場も楽しめるように、島袋さんと相談しながら乾燥・粉末化を検討。「島袋さんのおかげで出会いが広がった」と喜びます。

島袋さんは「信頼できる人たちが作るものは自信を持って提供できる」と話し、作り手の想いや食べ方をお客さまへ、お客さまの声を作り手に伝えます。「おいしかった」という声にも、もつといいものを作ろう!と意欲が湧くと芳子さん。

## 刺激を与え合う仲間が地域づくりのカギ

島袋さんは、アーサの拠点産地である北中城村をPRしようと、店でのアーサメニュー提供のほか、漁協との連携でアーサを麺に練りこんだ沖繩そばを開発。佐敷中城漁協北中城支所長でアーサ加工部会会長の田仲康信さんは、「海人は、商品化は専

## 編集後記

2月の3連休、JR東海のCM「そうだ。京都、行こう」のりで京都へ!お寺や祇園など京都らしい街角をのんびり散歩していると、はらはらと雪が降り、春の桜や秋の紅葉とひと味違った京都の風情がありました。冬の京都はオフシーズンなのか観光客が少なく、旅行にお勧めです!(momo)

本年7月、テレビ放送は完全に地上デジタル放送に移行し、アナログ放送は終了します。デジタルテレビなどを購入してもすぐに地上デジタル放送を受信できない場合があります。また、完全にデジタル直前にはアンテナ工事や機器の納品の対応が遅れが生じるおそれもあります。詳しくは、デジサポ沖繩または県情報政策課まで。(これちなう)

沖縄県広報誌  
平成23年3月1日発行第35巻3号通巻426号

## 美ら島沖繩

●表紙 写真・島袋常貴  
●表紙 撮影協力・糸満市役所

企画・編集・発行 沖縄県知事公室広報課  
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2  
TEL.098-866-2020

## アンケート

「美ら島沖繩」の感想をお聞かせください。

パソコンはこちら

<http://www.pref.okinawa.jp/churahome/>



沖縄国際アジア音楽祭  
3月18日~20日開催!



沖縄国際アジア音楽祭  
3月18日~20日開催!